

【下】  
聖徒伝 170

# 「復活こそ命」

イザヤ書26～27章 イスラエルの回復

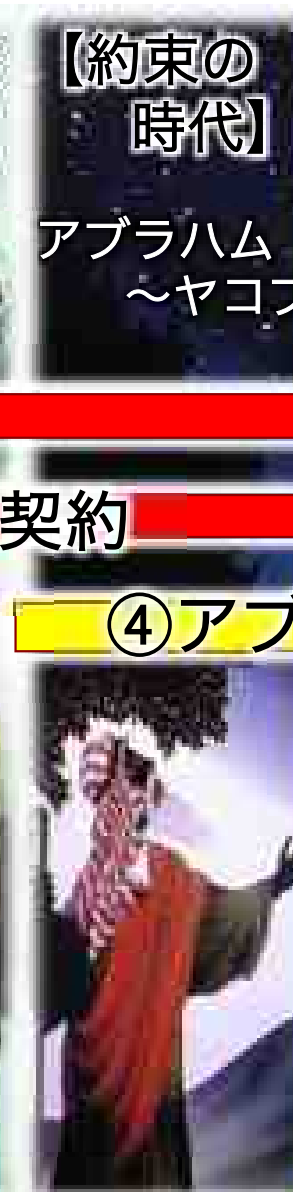
## アウトライン

- I. 地上の都と神の都 26:1～19
- II. 背教の世界の裁き 26:20～27:1
- III. イスラエルの回復 27:2～13
- IV. まとめと適用

復活にこそ

永遠の希望を置こう





【無垢の時代】

天地創造

【良心の時代】

墮罪  
~大洪水

【人類統治の時代】

バベルの塔事件

【約束の時代】

アブラハム  
~ヤコブ

【律法の時代】

イスラエル  
王国時代  
メシア初臨

【恵みの時代】

聖霊降臨  
世界宣教  
メシア再臨

【御国の時代】

千年王国  
大審判  
新天新地

①エデン契約

②アダム契約

③ノア契約

④アブラハム契約

⑤モーセ契約

⑥土地の契約

⑦ダビデ契約

⑧新しい契約

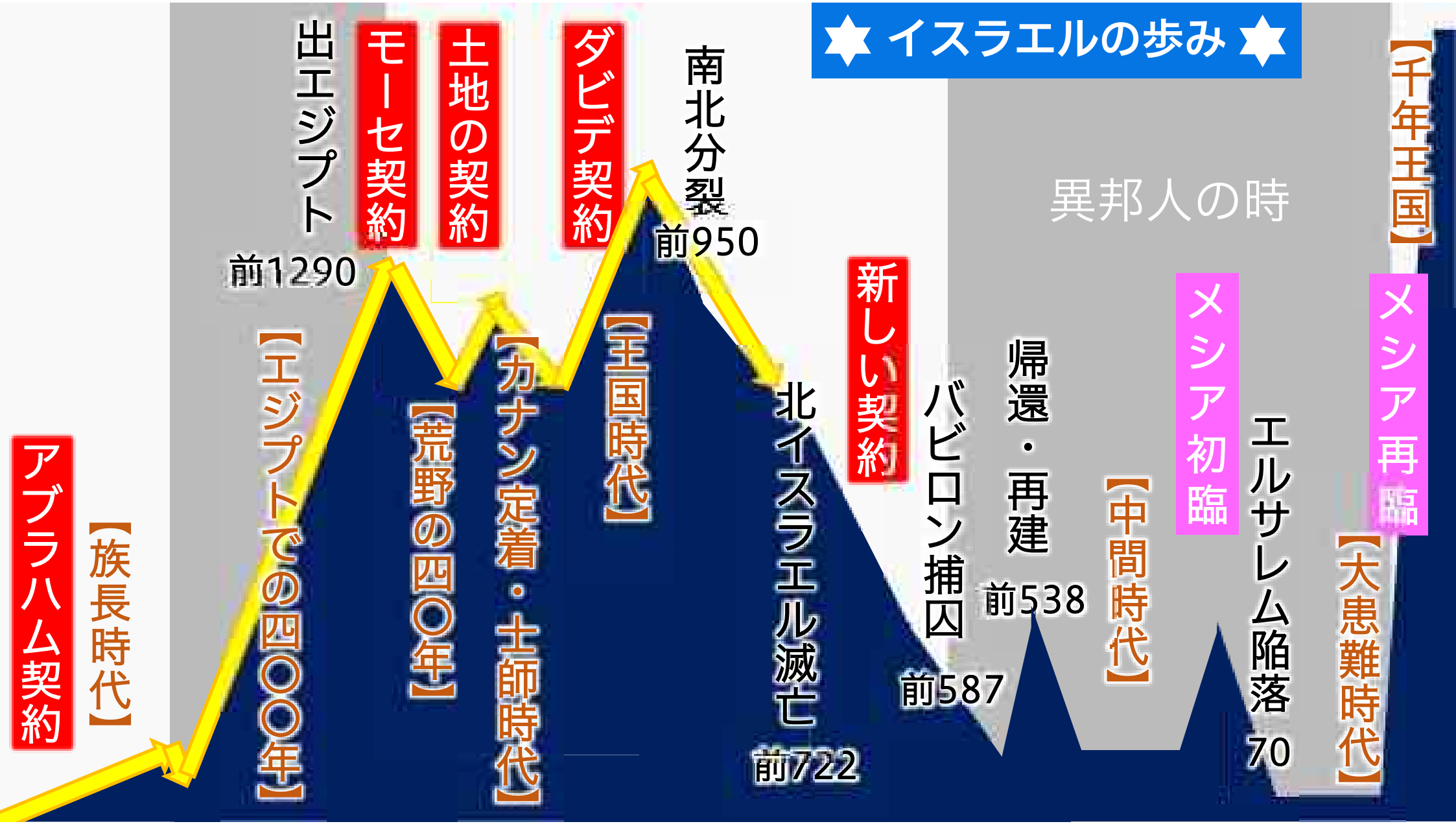
神の約束こそが  
その時代の守り

過去

現在

未来

★ イスラエルの歩み ★



アブラハム契約

【族長時代】

エジプトでの四〇〇年

前1290

出エジプト

モーセ契約

【荒野の四〇年】

土地の契約

【カナン定着・士師時代】

ダビデ契約

【王国時代】

前950

南北分裂

前722

北イスラエル滅亡

新しい契約

前587

バビロン捕囚

【中間時代】

前538

帰還・再建

エルサレム陥落 70

メシア初臨

【大患難時代】

メシア再臨

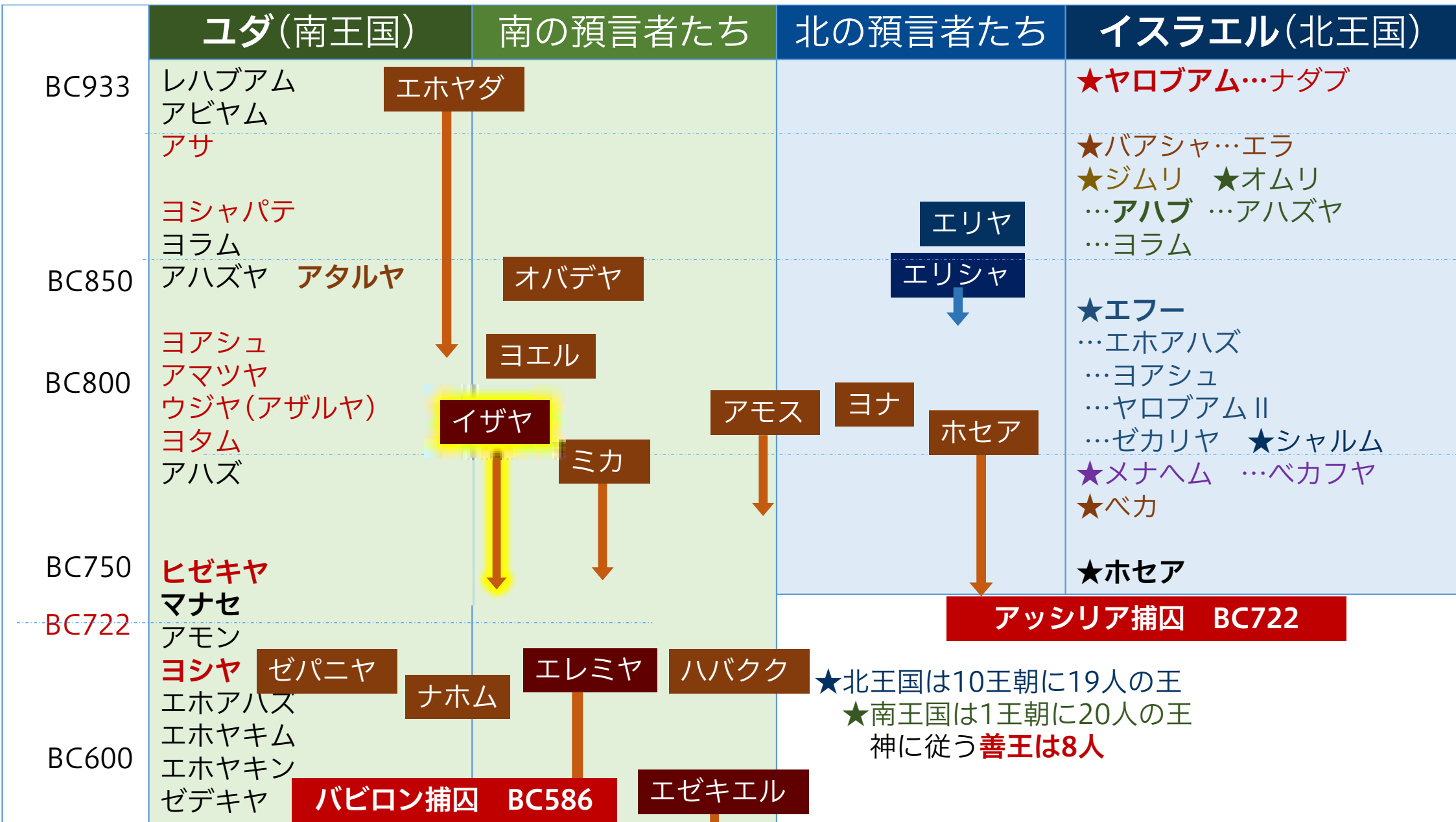
【千年王国】

異邦人の時

## 預言者イザヤとは？

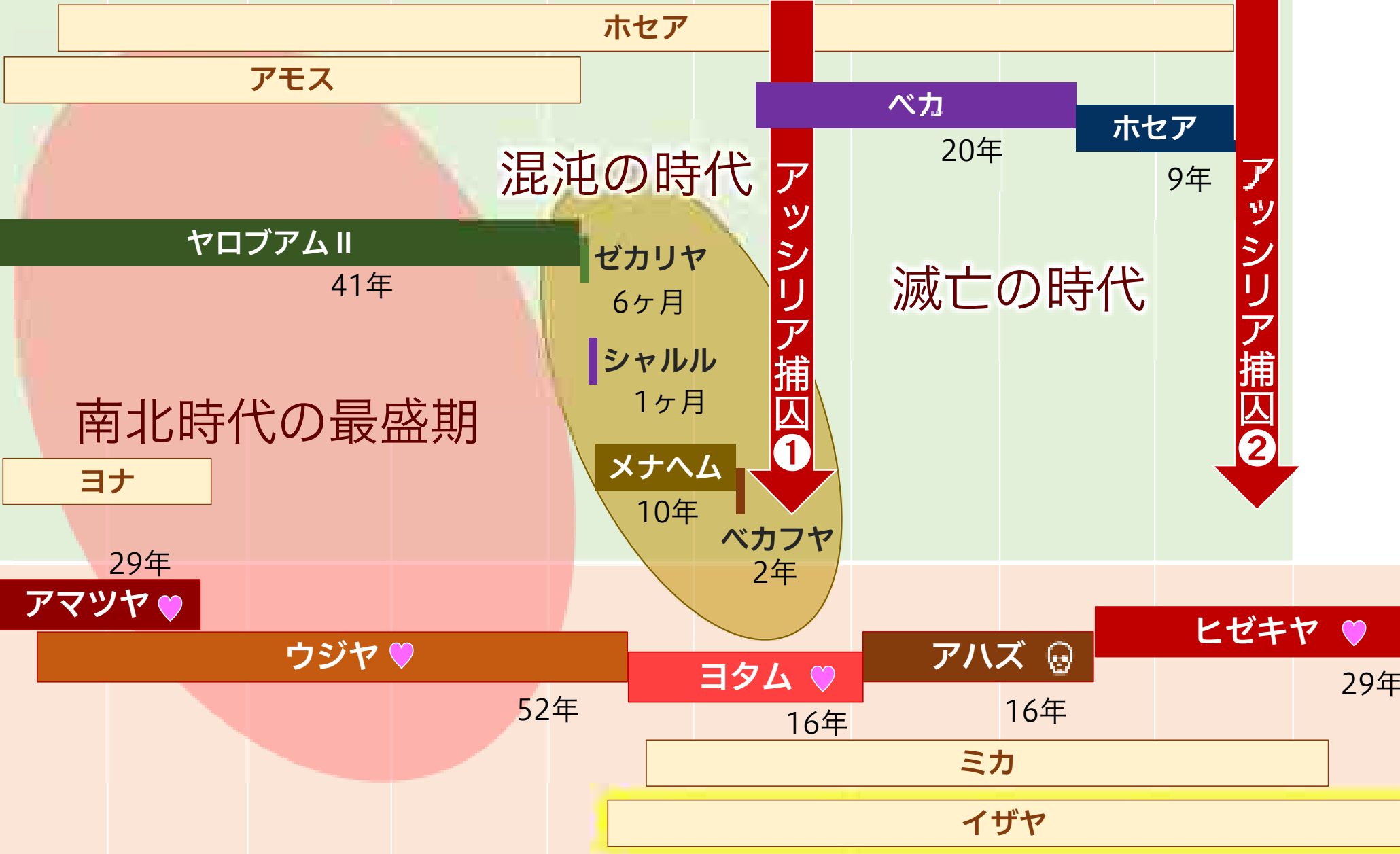
- イザヤ = “ヤハウエは救い”
- エルサレムの都で活動。
- 60年に渡り、4人の王に仕えた。  
ウジヤ→ヨタム→アハズ→ヒゼキヤの時代。
- 遣わされたのは、拒まれる前提の過酷な試練。  
「行って、この民に告げよ。『聞き続けよ。だが悟るな。見続けよ。だが知るな』と。イザヤ6:9」





北王国イスラエル

南王国ユダ



混沌の時代

滅亡の時代

南北時代の最盛期

アッシリア捕囚①

アッシリア捕囚②

ベカフヤ 2年

29年

52年

16年

16年

【預言者視点で見る預言書は、こんな感じ？ 実際は？】

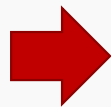




# 預言が告げる、三つの時代の出来事



南北時代

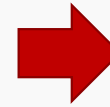


① 直近の  
苦難

メシア初臨



② 主の日  
大患難時代



③ 回復  
メシア再臨

# 天上の礼拝

主の日

主の日・大患難時代(7年間の裁き)



教会時代

御国の時代

携拳

封印の  
裁き

ラッパの  
裁き

鉢の裁き

メシア再臨  
イスラエルの  
民族的回心

主の日

天上の礼拝



主の日・大患難時代(7年間の裁き)



14万4千人による世界宣教



ユダヤ人大迫害



神国時代

教会時代

携拳

封印の裁き

ラツパの裁き

鉢の裁き

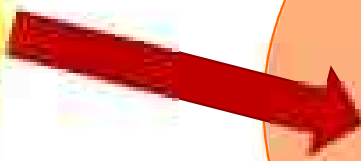
イスラエルの民族的回心

メシア再臨

【パラダイス】



【天上の礼拝】



キリストの再臨



神の国



【新天新地】

聖霊降臨



【教会時代】



【大患難時代】



【シエオール(陰府)】

白い御座の裁き

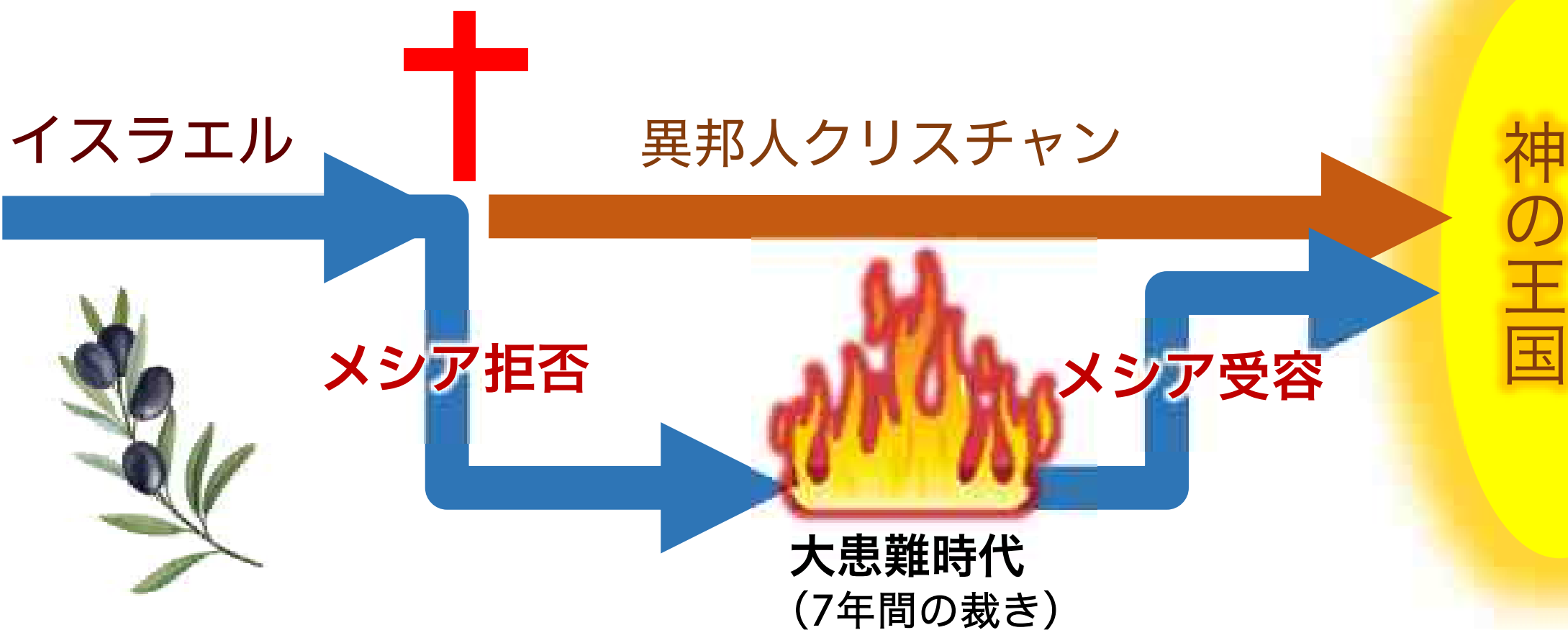


【ゲヘナ(地獄)】



# イスラエルの救いの計画

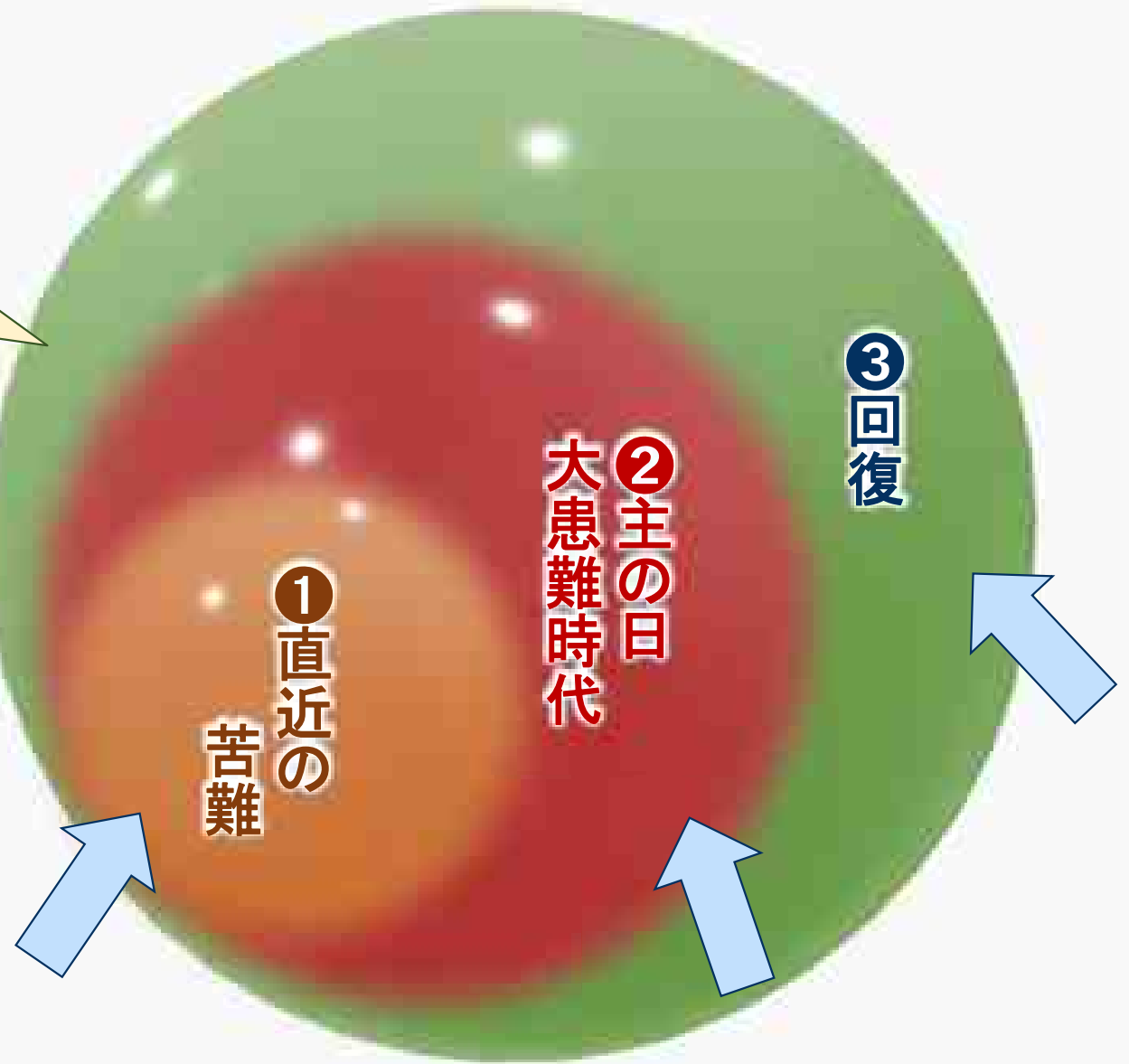
メシアを拒んだイスラエルの民族的回心の時が来る!!



## 3Dで預言を捕らえる

シームレスな  
かたまりとして  
とらえよう

見る角度で  
違う時代が  
浮き上がる





# Ⅰ. 地上の都と神の都

イザヤ書26章1～19節

ダマスコ門とイスラエル旧市街

## 神の都 神の都の城門 イザヤ26:1～2

**その日\***、ユダの地でこの歌が歌われる。  
私たちには**強い都\***がある。神はその城壁  
と塁で私たちを救ってくださる。

城門を開けて、忠誠を尽くす正しい民を  
入らせよ。

**\*主の日** …世の終わりの一連の出来事。

裁き➡民の回心➡メシア再臨➡神の国

**\*エルサレム** …来たるべき神の国の都





## 神の都 主に信頼せよ イザヤ26:3~4

志の堅固な者を、あなたは全き平安のうちに守られます。その人があなたに**信頼\***しているからです。

いつまでも【主】に**信頼\***せよ。ヤハ、【主】は、とこしえの**岩\***だから。

\***岩** →メシア・救い主

■ただ主を**信頼\***して、救われる。

→聖書を貫く救いの大原則

**平安も守りも主への信頼の上に!!**



神殿の丘の地下・ソロモンの石切場

## 人の都 主の大路 イザヤ26:5～7

主は高い所、そびえ立つ都\*に住む者を引き倒し、その都を低くして、地にまで下らせ、これを投げつけて、ちりにまで下らされる。

足がこれを踏みつける。苦しむ者の足、弱い者の足\*の裏が。

正しい人の行く道は平らです。あなたは正しい人の道をならし、平らにされます\*。

\*人間の都 …究極は反キリストの大バビロン

\*迫害されたイスラエル →受難の僕・メシア

\*メシアが悪を裁き、地を平定される。



## 神の都 さばきの道 イザヤ26:8~9

【主】よ。まことに、あなたのさばきの道\*で私たちはあなたを待ち望みます。あなたの御名、あなたの呼び名は私のたましいの望みです。

私のたましいは、夜にあなたを慕います。まことに、私の内なる霊はあなたを切に求めます。まことに、あなたのさばきが地に行われるとき、世界の住民は義を学びます。

\*神の都エルサレムの大路。メシアに至る道。

■神の国の住民は、王なるメシアを慕い求め、メシアの裁きに従い、メシアから義を学ぶ。



## 人の都 悪しき者の末路 イザヤ26:10~11

悪しき者\*は、恵みを受けても義を学びません。公正の地にあっても不正を行い、【主】のご威光を見ようとしません。

【主】よ。あなたの御手が上げられても、彼ら\*は見ようとしません。どうか彼ら\*が、この民へのあなたの熱心\*を見て、恥じますように。まことに火が、あなたに逆らう者\*をなめ尽くしますように。

\*主は嫉むほどにイスラエルを愛される。

■誰もが神の恵みを受け、良心は公正を知っている。

主の栄光を拒み、裁きを軽んじる者\*に裁きが待つ。



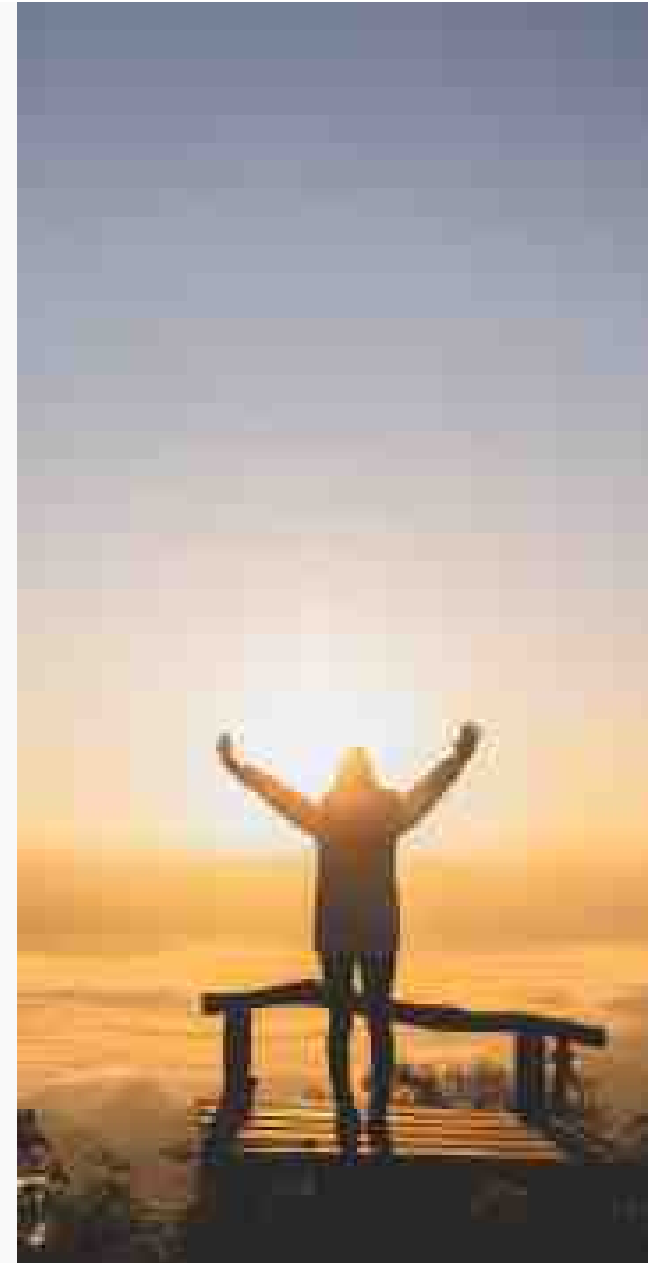
## 神の都 主の御名 イザヤ26:12~13

【主】よ。あなたは私たちのために平和を備えてくださいます。まことに、私たちのすべてのわざも、あなたが私たちのためになさったことです。

私たちの神、【主】よ。あなた以外の多くの君主が私たちを治めました\*。私たちはただあなただけを、あなたの御名を呼び求めます。

\*アッシリア➡バビロニア➡ペルシャ➡ギリシャ  
➡ローマ …イスラエルの苦難の歴史

■イスラエルが主の御名だけを呼び求める時が!!



## 人の都 永遠の滅び イザヤ26:14

彼ら\*は死人であって、生き返りません\*。彼ら\*は死者の霊であって、よみがえりません\*。それゆえ、あなたは彼ら\*を罰して根絶やしにし、彼ら\*についての記憶をすべて消し\*去られました。

\*主に背き通した者たち。主に逆らう者たち。

\*「死」は、神との断絶。すべての罪人の状態。

すでに死んでいる → 待つのは永遠の滅び。

\*命の書から名を消される = 永遠の滅び



イスラエルの墓

## 神の都 主の導き イザヤ26:15~16

【主】よ。あなたは**この国民\***を増し加えられました。**この国民\***を増し加え、ご自身の栄光を現し、この国のすべての境を広げられました\*。

【主】よ。苦難の時に**彼ら\***はあなたを求め、あなたが懲らしめられたとき、**彼ら\***はうめきの声をあげました。

\*神の民イスラエル

\*子孫の繁栄、土地の授与、メシアによる救い。

→アブラハム契約の成就

■主が大患難を通して民を救いに導かれる!!



神殿の西壁・嘆きの壁

## 神の都 産みの苦しみ イザヤ26:17~18

子を産む時が近づいた妊婦が産みの苦しみに、もたえ叫ぶように、【主】よ、私たちは御前でそのようでした。

私たちは身ごもり、産みの苦しみをしました。それはあたかも、風を産むようなもの\*でした。私たちは救いを地にもたらさず、世界の住民はもう生まれてきません。

＊大患難時代に味わわされる“虚しさの極み”

■破壊に次ぐ破壊、災厄に次ぐ災厄、

地上のすべての希望は徹底的に打ち砕かれる。



ユダの荒野



## 神の都 復活の希望 イザヤ26:19

あなたの死人は**生き返り**、私の屍は、**よみがえります\***。覚めよ、喜び歌え。土のちりの中にとどまる者よ。まことに、あなたの露は光の露。地は死者の霊を**生き返らせます\***。

＊聖書で最初に明記される、**復活の希望**。

■死に、滅びゆく人間の唯一の希望が、**復活**。

復活はないと言うユダヤ人などありえない!!

→イエスの時代のサドカイ人たち

**救いの完成は、復活の栄光の体を与えられる時!!**





## II. 背教の世界の裁き

イザヤ書26章20節～27章1節

ユダの荒野

## 裁き 身を隠せ イザヤ26:20~21

さあ、私の民よ。あなたの部屋に入り、うしろの戸を閉じよ\*。憤りが過ぎるまで、ほんのしばらく身を隠せ。

それは、【主】がまさにご自分のところから出て\*、地に住む者の咎を罰せられるからだ。地は、その上に流された血をあらわにし、そこで殺された者たちを再びおおうことはない。

\*箱舟の戸が閉じられた大洪水の裁きや、エジプトの災いを過ぎ越した時のように。

\*主イエスが、世の裁き主として再臨される。



## 裁き 悪の末路 イザヤ27:1

その日、【主】は、鋭い大きな強い剣で、逃げ惑う蛇レビヤタン\*を、曲がりくねる蛇レビヤタン\*を罰し、海にいる竜\*を殺される。

\*恐竜か。➡ここでは悪魔の象徴。

■大患難時代、海(異邦人世界)から来る獣が、悪魔の化身である反キリスト。

■再臨のメシアは、反キリストを滅ぼし、悪魔は千年後に、火の池に投げ込まれる。





### Ⅲ. イスラエルの回復

イザヤ書27章2～13節

イスラエルのぶどう畑

## 回復 主のぶどう畑 イザヤ27:2

「その日、美しいぶどう畑\*について歌え。  
わたし、【主】はそれ\*を見守る者。絶えず  
これ\*に水を注ぎ、だれも害を加えないよう  
に、夜も昼もこれを見守る。

わたしにもう憤りはない。もしも、茨とお  
どろ\*がわたしと戦えば、わたしはそれを踏  
みつぶし、それをみな焼き払う。

\*回心した神の民イスラエル

\*成長を阻害する雑木 ➡不従順の異邦人



## 回復 神の平和 イザヤ27:5~6

あるいは、もしわたしという砦に頼りたければ、わたしと和を結ぶがよい\*。和をわたしと結ぶがよい。

時が来れば、ヤコブ\*は根を張り、イスラエル\*は芽を出し、花を咲かせ、世界の面を実で満たす。」

\*主を信じた異邦人にも、神との平和が!!

\*ヤコブ=イスラエル

**アブラハム契約が完全に成就する!!**



## 裁き 敵対者の末路 イザヤ27:7~8

主は、イスラエルを打った者\*を打ったように、イスラエルを打たれたただろうか。イスラエルを殺した者\*を殺したように、イスラエルを殺されたただろうか。

あなたは追い立て、追い出し、彼ら\*と争い、東風\*の日に、激しい息\*で彼ら\*を吹き払われた。

\*反キリスト、悪の勢力は地上から一掃。

\*砂漠からの熱風 → 神の厳しい裁き

メシアは、東から来てオリーブ山に立たれる。



荒野の砂嵐



## 回復 偶像の破壊 イザヤ27:9

それゆえ、次のようにしてヤコブの不義\*は赦される。祭壇の石をすべて、粉々にされた石灰のようにし、アシェラ像と香の台を二度と立てなくすること、これが、自分の罪を除いて得る実のすべてだ。

\*イスラエルの罪の根源が偶像礼拝。

➔あらゆる偶像が徹底して取り除かれる。

**人の罪によって築かれたものは  
一切、神の国には残らない!!**



## 回復 見捨てられた町 イザヤ27:10

城壁のある町\*はひとり寂しく、捨て置かれた牧場のようになり、見捨てられて荒野のようになる。そこで子牛が草をはみ、そこに伏して、その木の小枝を食い滅ぼす\*。

\*不信仰者が築き上げた城壁の町。

\*罪と悪の痕跡すら完全に取り除かれる。



## 回復 不信仰者の末路 イザヤ27:11

枝\*が枯れると、それは壊され、女たちが来て、それに火をつける。これ\*は悟りのない民\*だからだ。それゆえ、これ\*を造った方はあわれまず、これ\*を形造った方は恵みをお与えにならない。

\*メシアの福音を拒み通した不信仰者たちは、神からのあらゆる恵みを取り去られ、徹底して滅ぼされる。



## 回復 約束の土地へ イザヤ27:12

**その日**、【主】はあの大河からエジプト川まで\*  
穀物の穂を打ち落とされる。イスラエルの子らよ、  
あなたがたは一人ひとり拾い上げられる。

\*ユーフラテスからエジプトの支流まで

→アブラハムに約束された土地の全域

■約束の土地にいた異邦人は取り除かれ、  
神の民イスラエルが、この地に集められる。



## 回復 集められるイスラエル イザヤ27:13

**その日**、大きな角笛\*が鳴り渡り、アッシリアの地にいる失われていた者や、エジプトの地に追いやられた者たちが来て、エルサレムの聖なる山で【主】を礼拝する。

\*神の栄光の顕現。真実の礼拝を告げる角笛。

■メシアが建てた神の国、エルサレムの都に散らされていたすべてのイスラエルが、集められる。主イエスが礼拝される。





## IV. まとめと適用

復活にこそ、永遠の希望を置こう

オリーブ山からのエルサレム

## 世の終わりのイスラエルの回復の過程

- ①福音を信じたすべての異邦人とユダヤ人が**携挙**される。
- ②7年間の**大患難時代**へ。イスラエルへの最終的な裁きの時代。  
反キリストによる大迫害。最終戦争(ハルマゲドン)。
- ③イスラエルの**民族的悔い改め**。→**メシアの再臨**  
悪魔の軍勢と不信仰者たちが裁かれ、地上から一掃される。
- ④メシアが建てた王国の都エルサレムに、**全イスラエル**が集められる。  
すべて福音を信じた者は、**復活の栄光の体**を与えられ、  
死から完全に解放され、時を越えた永遠の命を喜びに生きる。

## 復活こそ、イスラエルに与えられた最終的希望

### ■ メシアの約束に、最初から秘められていた**復活**

「わたしは敵意を、おまえと女の間、おまえの子孫と女の子孫の間に置く。彼はおまえの頭を打ち、おまえは彼のかかとを打つ。」

創世記3:15」

### ■ アブラハムは、イサクの**復活**を信じて奉獻した(創世記22章)。

イサクが死んでも、神の契約は実現される。 ➡イサクは**復活**する

### ■ イサク奉獻は、メシアの十字架と**復活**の影。

➡神のひとり子・メシアは、イスラエルと全人類の罪を負って十字架で死なれ、葬られ、死を打ち破って**復活**された。



## 復活こそ、すべての信仰者の永遠の希望

- すべて的人是、罪のために、神と断絶され、生きていても死んでいる。肉体の死を誰も逃れられない。
- 死刑囚は、死刑囚の身代わりにはなれない。罪なきメシア・主イエスだけが、人の罪の身代わりとなれた。
- 100%、完全に人となられたキリストだから、死ぬことができた。100%、完全に神であるキリストだから、死を打ち破り**復活**できた。
- 人はただ、キリストの十字架の贖いを**復活**を信じて救われる。信じた者は、来たるべき神の国で**復活**し、栄光の体を与えられる。

## ★ 復活の希望を苦難を生き抜く力にしよう ★

- 私たちは、死んだ者たちの滅びゆく世界に生かされている。  
死が地上を支配し、人類と世界は、破滅への道をたどっている。
- 主を信じて歩むことは、激流の大河を渡るようなこと。  
主から目を離せば、世に流されるのは、あっという間だ。
- 次元を超越した**復活**の約束は、内住の聖霊によって確信となる。  
神の約束の御言葉にかじりつき、主の命を求めて行こう。
- ただ主に信頼して、一步を踏み出し続けて行くなら、  
主が着実に、**永遠の命**の確信を私の内に強めていってくださる。

## 主イエスの「ある金持ちのたとえ」に学ぶ

### ■イザヤ書26章19節

あなたの死人は生き返り、私の屍は、よみがえります。

覚めよ、喜び歌え。土のちりの中にとどまる者よ。

まことに、あなたの露は光の露。

地は死者の霊を生き返らせます。

「<sup>てん</sup>天の<sup>とう</sup>お父さま。わたしは、あなたに<sup>そむ</sup>背き、<sup>つみ</sup>罪を<sup>かさ</sup>重ねてきました。  
<sup>ひび</sup>日々<sup>おか</sup>犯してしまう<sup>つみ</sup>罪をも<sup>こくはく</sup>告白します。この<sup>つみ</sup>罪をゆるしてください。

わたしは、<sup>かみ</sup>神の<sup>こ</sup>み子イエス・キリストが、  
<sup>つみ</sup>あがな<sup>じゅうじか</sup>し

①わたしの罪を贖うために十字架で死に、

<sup>はか</sup>ほうむ

②墓に葬られ、

<sup>みつかめ</sup>ふっかつ

③三日目に復活した<sup>しん</sup>こと、を信じます。

<sup>しゅ</sup>主イエスの<sup>いのち</sup>命が、<sup>わたし</sup>私の<sup>いのち</sup>命とされました。<sup>しゅ</sup>主イエスが<sup>ふっかつ</sup>復活の<sup>はつほ</sup>初穂です。

<sup>き</sup>来たるべき<sup>かみ</sup>神の<sup>くに</sup>国で、<sup>わたし</sup>私は、<sup>えいこう</sup>栄光の<sup>からだ</sup>体に<sup>ふっかつ</sup>復活します。その<sup>とき</sup>時、<sup>わたし</sup>私は、

<sup>かな</sup>悲しみも<sup>なみだ</sup>涙もなく、<sup>し</sup>死を<sup>やぶ</sup>破り、<sup>とき</sup>時をも<sup>こ</sup>越えて、<sup>しゅ</sup>ただ<sup>れいはい</sup>主を礼拝します。

<sup>いのち</sup>命の<sup>みことば</sup>御言葉の<sup>かくしん</sup>確信をもって、<sup>め</sup>目の<sup>まえ</sup>前の<sup>しれん</sup>試練に<sup>た</sup>立ち向<sup>むか</sup>かわせてください。

<sup>しゅ</sup>主イエス・キリストの<sup>な</sup>み名によって<sup>いの</sup>祈ります。　アーメン」